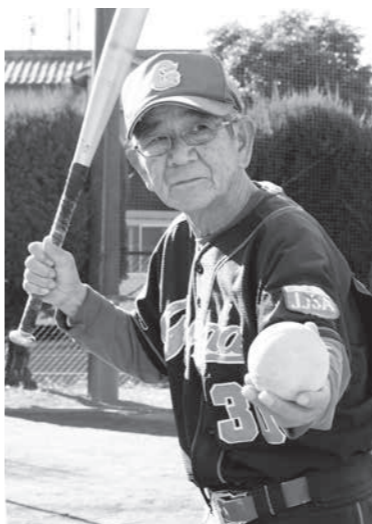




ソフトボールを楽しみながら全国の舞台へ
合言葉は「一戦必勝」

石井良造さん(持田・68歳)

昨年11月に開催された第9回春季全日本小学生ソフトボール大会の埼玉県予選会を制し、3月26日から熊本県菊池市で開催する全国大会への出場を決めた行田少女ソフトボールクラブ。その指揮官として、24人の選手と一緒にグラウンドで汗を流しているのが石井良造さんです。石井さんは、昭和59年に長女と共に「一持田チエリーズ」に入団。コーチとして子供たちの指導に当たりました。ソフトボールに携わるようになった理由を「本当は自分の子どもが男の子だったら少年野球をやらせて、自分は監督をやりたいかったです。でもうちは女の子がいなかったからね。それでソフトボールをやらせたいです」と笑みを浮かべながら話します。8年間コーチを務め、平成4年から監督に。その後7年間チームの指揮を取りましたが、その間少子化の影響で市内の各チームが解散し、自分のチームもその危機に直面してしまいました。この問題を解決すべく、関係者と共に平成12



年に市内唯一のソフトボールチーム「行田少女ソフトボールクラブ」を結成。初代監督となった石井さんは「埼玉県の頂点を目指すんだ」という強い思いで、コーチ陣と協力しながら一からチーム作りを着手しました。そして、結成から10年が経った平成22年には埼玉県スポーツ少年団ソフトボール大会で初めて優勝を勝ち取り、その後も県内で常にベスト4に進出するほどの強豪チームに育て上げていったのです。「昔は勝つことを意識しすぎて厳しい指導をしてきましたが、今は誉めて伸ばすことを意識しています。孫に教えるようなものですか」と笑顔で指導方針を語る石井さん。選手が本番で力を発揮できるように、現在は実戦形式の練習を多く取り入れるとともに、練習試合を含めて年間70ゲームを超える試合を組んでいます。チームの中心だった6年生が抜け、新チームで挑んだ昨年11月の埼玉県予選会。石井さんは「一戦必勝」の気持ちで試合に臨むよう選手を鼓舞しました。初戦で優勝候補をサヨナラ勝ちで破ると、チームは勢いに乗り一気に埼玉の頂点に。優勝を決めた瞬間、目頭が熱くなるのを感じたそうです。

全国大会に向けて、石井さんは「これまでのご支援ご協力に感謝したい。埼玉の代表として、これまでと変わらず一戦必勝の気持ちで一試合でも多く試合をしたい」と抱負を語ります。クラブを率いて16年。指揮官は、選手と共に全国の舞台を楽しみながら頂点を目指します。

はじめまして



平成27年5月生まれのお子さんを募集します

○3月1日(火)～31日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、4月4日(月)午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成27年3月生まれのおともだち ★★★



前澤 凛 (りん) ちゃん(南河原)
平成27年3月18日生まれ
父・晃さん 母・さゆきさん
「食欲と笑顔がチャームポイント」



柴田 隼 (はやて) ちゃん(駒形)
平成27年3月1日生まれ
父・政彦さん 母・敬子さん
「指さして、コロコロがロケせ」



渋谷 李唯 (りい) ちゃん(城東)
平成27年3月27日生まれ
父・壮さん 母・亜希さん
「我が家のわんぱくお姫様」



谷井 佑吏 (ゆうじ) ちゃん(持田)
平成27年3月20日生まれ
父・伸行さん 母・敏妃さん
「元気にスクスク育ってね」



大澤 百々香 (ももか) ちゃん(富士見町)
平成27年3月27日生まれ
父・孝行さん 母・朋美さん
「いつも笑顔ありがとう♡」



長谷川 鈴乃 (すずの) ちゃん
平成27年3月7日生まれ
父・龍也さん 母・萌さん
「いつも笑顔でいてね♡ 大好き♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社むかさ商店

真空パックで新鮮なお米を食卓に



会社プロフィール

代表取締役 武笠 勉
【事業内容】米穀類小売業
【住所】忍2-11-15

水城公園内に展示されているSLのすぐそばで、60年以上変わらずに店を構えているのが株式会社むかさ商店です。
同社は昭和28年に創業し、米をはじめ、灯油やLPガスの販売、リフォームなど幅広い事業を手掛けてきました。埼玉県八幡・ママ応援ショップの協賛店舗や買い物の困難な高齢者を対象に配布している宅配電話帳にも登録しており、行政と連携しながら地域に密着したサービスを提供しています。代表取締役の武笠勉さんは「市などの事業に協力することで地域貢献や新しいお客さんに知ってもらうきっかけにもなれば」と顔をほころばせます。

同社が新たに力を入れているのが、米の少量真空パック販売です。「日本人の米の消費量が減少している状況を打開したい」。そんな思いから、この販売方法を取り入れました。通常、米はキログラム単位の販売が一般的。しかし、同社では小型精米機を使って2合から精米、真空状態で袋詰めし、販売しています。これにより虫の発生を防ぎ、長期間保存できるようにしたことで、購入者からはいつもでも新鮮なお米を食べることができるといわれる高い評価を受けています。1回に炊く分だけを購入できるため、同社が仕入れている魚沼産こしひかりや会津坂下産こしひかりといった厳選した米を気軽に食べ比べることができるといったメリットも。また、米をオリジナルの四角い袋に詰めた商品はおしゃれな見た目も好評で、ギフト用に購入するお客さんも多いそうです。
今後について武笠さんは「これまで慣例がありませんでしたが、年始のあいさつなどにお米を贈る文化を根付かせていきたいです。そのためには、包み紙の種類を増やす、お茶など他の商品とセットにするといった工夫も必要かもしれません」と構想を膨らませます。お米の炊き方や種類についてもアドバイスしている同社。食生活はもちろん、生活全般の心強いパートナーとして私たちの暮らしを支えてくれることでしょう。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|----------------|------------|-----------------|-----------|
| 俳句 | 城西 鈴木 正夫 | 賜りし春の叙歎は妻のもの | 谷郷 柳瀬 久 |
| 冬將軍沖繩までも攻め入りぬ | 荒木 藤田 栄之 | 秩父路の残雪冠る道祖神 | 持田 伊藤 成美 |
| 繰り言はそこまですておでん酒 | 門井町 茂田 鳥山 | 寒明けの利根はまだに寝ておりぬ | 荒木 森田 静 |
| 椿散る微かな音がまたひとつ | 富士見町 森 節子 | 夫の忌の近し白梅三分咲き | 桜町 長谷川さく |
| 麦を踏む遠き影あり母しのお | 荒木 国島 初江 | 老いの夢たくしてつるす初曆 | 城南 橋本千枝子 |
| 平凡に生きて傘寿や初日の出 | 富士見町 鈴木スイ子 | 玄関の出迎えうれし吊しびな | 藤原町 上原ミサ子 |
| 雪積むや盆栽の松揺ぎ無し | 城西 佐藤ヤスコ | 廃墟なる帰らぬ人を待つ椿 | 門井町 嶋田 茂 |
| 冬木立黙して風の木霊かな | 忍 丸山 連子 | 人波に押される儘初参り | 高条 小林 英与 |
| 健康寿命めざしてはげむ寒稽古 | 荒木 手島 一海 | 豆撒きや鬼の面取り父となる | 持田 二瓶 弘子 |
| みどり児の大地へ一歩日脚伸ぶ | 持田 丸山 麟一 | 大寒やボールの様なスズメ達 | 谷郷 馬場 勇 |
| 雪積り尖りし石も丸くなり | | (三沢 一水 監修) | |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。